

会議名	第5回新城地域協議会		公開
日時	令和4年8月25日(木) 午後7時00分～午後8時30分	場所	市役所本庁舎4階 会議室
出席者	(委員) 今泉仁、岡山博、浅田京二、伊藤哲夫、清水利高、今泉澄夫、 佐本達俊、高木猛至、丸山哲也、今泉克英、松井利文、後藤國與、 鈴木雅晴、篠宮千栄子、今泉光俊、大瀧章義、村田博和、今泉栄、 畠山恵美子		
	(事務局) 市民自治推進課：加藤参事 新城自治振興事務所：笹田所長、大岩主任		
欠席者	矢賀美紀代、中川享子、浅岡勝	傍聴者	なし
配布資料	次第、令和5年度新城地域自治区予算事業計画(案)、新城地域協議会だより第44号(案)、地域計画を進めるために		

議題・議事・発言等(要点記録)

<p>1 開会 会議成立の報告及び会議録署名委員の指名(浅田京二委員、伊藤哲夫委員)</p> <p>2 議事 (1) 令和5年度新城地域自治区予算事業計画(案)について 8月12日(金)に開催された第3回地域自治区予算分科会で方針決定された令和5年度新城地域自治区予算事業計画(案)について、清水委員長からポイントを報告した。1つ目に、自主防災組織防災活動援助事業について、入船区の要望は令和6年度に実施とし、令和5年度の予算は見送ること。2つ目に、交通安全施設整備事業について、市道東新町桜淵線のカラー舗装を2か年計画とすること。3つ目に、にぎわい創出事業について、しんしろまちなか映画祭の上映本数を5本から4本に調整すること。4つ目に、しんしろまちなか散策推進事業について、昨年度からの引継ぎ事項であったしんしろまちなか散策の看板を3か所に設置することである。なお、詳細については、事務局から説明した。その後、原案のとおり令和5年度新城地域自治区予算事業計画(案)が決定された。</p> <p><主な意見> (委員) AEDに関して、電池の交換といった保守管理はリース料の中に入っているか。 (事務局) 保守も入っているため、直接地元の方が何かすることは無い。 (委員) 例えば安全灯は最終的にどれだけ付けなければならないか、進捗率が分からないと毎年こういう予算をばらばらと組んでいかなければいけないと危惧する。AEDもそうだが、当然あるべき施設であるため、自治区予算ではないところで整えるべきものがあれば外していかないと、本来の自治をするための予算としての使い道が狭くなってしまわないかという危惧がある。それから子育てについて、人材育成と同じである</p>

ため、もっと子どもの方に色んな予算を振り分けてやってもらうことが重要だと思う。施設等は自治区予算ではなく、市の設備としてやる部分があれば、そちらで充実してもらうことも考えられないのかと思う。全体像が見えないため、苦勞して予算を組んでいっぱいになり、これ以上自由度がなく新しいことができないと諦めてしまう形であるともったいないと思うため、例えば照明灯やAEDは全体のうち、これだけ終わっていると分かれば、毎年の予算の審議にも活用できると思う。それから例えばAEDは一定距離間にいくつという形になると、区に1つではなく、距離で測って均等に置く等、そういう考え方も必要になるため、今置かれているところが適正なのかを見るために、どこにどういう形で整備されているかという実績も併せて出してもらうとよいと思う。

(事務局) 地域安全灯を設置するのは市ではなく行政区である。地域安全灯を計画的に整備することは大事であり、この地域協議会には行政区長が全員いるため、各行政区でどれだけ整備が必要で、何年で終わるのか等、地域協議会で考えてもらう必要があると思う。また、地域安全灯、交通安全や防災資機材等の整備に費用がかかり、他へ予算を回せる自由度が少ないことについては、1つの考え方としてそれらを各行政区の区費等で整備していく方法もある。これらは地域の要望として上がってきたものであり、それを市の予算でやるのは財政的にも厳しいため、地元でやっていくという選択肢もあると思う。現に他の地域自治区であると、地域自治区全体の防災組織が要望する指定避難所への防災資機材のみ地域自治区予算で計上している例、過去に防災資機材をある程度整備した後に地域の要望を取ることをやめている例もある。

(委員) 前区長からの引き継ぎとして、安全灯を3基新しくする予算が既に確保しているという話であった。ところが、組長会で安全灯を交換する希望がないかを何回も言うが、全く手が挙がらない。予算ができていないのに希望する組がない。何回か言っている中で1つの組だけが手を挙げて1基付けたが、あとの2基分は一体どこにいったのかという感じである。希望を取って新設、更新が出てきているのか、区長等が来年はこのくらい変えたいと思ってこれだけの数字が出てきているのかがよく分からない。

(委員) 申請して通ったということは、どこへ付けるのかを市に承認してもらっているはずであるため、どこへ付けることで申請したかを前の区長に資料等をもらって見れば分かると思う。

(委員) 本町の場合は区の役員が区を全部回って蛍光灯等は全部ピックアップし、そこの組長にやるかの話をした。組長は1期で変わり、なかなか分かりにくいところがあるため、区の役員がイニシアティブを取って要望がある時には報告してもらいながら計画を立てて進めるといったやり方もよい。

(委員) 子育て茶話会事業について、食糧費は一般的に理解してもらえないと思う。色んなところで会議を開いたりする時に、お茶菓子を出すぐらいはあるが、食べ物是非常に難しいと思う。

(事務局) 子育て茶話会開催事業で上がっている食糧費は、茶話会に参加する保護者用のお茶である。予算科目が食糧費であるため分かりにくいですが、今後は分かりやすく表記するようにしたいと思う。

(委員) 今年仕事をしていて特に思うが、このところ材料費が10%~30%上がっており、これは来年の予算であるため、足りなくなったらどこかで流用するのか。

(事務局) この予算については、来年度に入ってさらに物価等高騰したとしても変えることはなく、予算の範囲でやっていく。例えば地域安全灯の補助金について、東新町区の上乗せ補助は57千円であるが、工事費等が高騰して上乗せの1/4が60千円になったとしても、補助金として出せるのは57千円であり、3千円は区費等で対応してもらう形となる。その他の予算で市が見積を徴取した予算等については、物価高騰を加味した参考見積を依頼しているが、実際にそれよりも上がってしまった場合にはやれる範囲内でやっていくとしか今のところは言えない。

(委員) 例えば街路灯について、予算が足りなくなった場合には区の負担が増えると考えておけばよいか。

(事務局) そのとおりである。

(会長) 例えば安全灯については1/2は本予算で出るため、今までどおり上乗せ補助の1/4を自治区予算の中で持つかどうかということの次の年以降の予算を編成する上で検討してもらえればよいと思う。本予算の1/2のみで、あとは行政区のお金でやるという発想も出てくるかと思う。

(会長) 自主防災の防災資機材について、東新町からは防災倉庫を出したが、実は2年前にも出している。2年前は防災倉庫の設置に建築確認が必要でなかなか難しいということで取り下げたが、2年経って本年度も都市計画法の関係で引き下がらざるを得なくなった。これについては、地域が必要であり出しているため、それがなるべく可能なように市と県と国との話で解決することができると思う部分があるため、地域から要望が出ている時に通れるようにしておいて欲しいと思う。それから子育ての茶話会等について、コロナが出てきてコロナの感染が拡大して実際にできないということがあったが、これからもコロナが完全に収まることは考えられないため、コロナの感染がある中でも社会生活、経済生活等ができるような工夫を考えていかなければならないと思う。それから交通安全施設の整備について、通学路の変更のため5月の段階で交通安全サイン板の設置を行政課に要望したが、未だに付いていない。話をすると、中電の許可を得るのに手続きが滞っているようであるため、その辺も含めてこれからのことを考えていかなければならないと思っている。

3 説明

(1) 地域が自ら地域計画を推進する体制の構築について

地域計画を推進していくにあたっての課題や体制の構築について、資料に沿って事務局から説明した。

<主な意見>

(委員) 新城には若者議会があり、若者議会がどういった活動をしているのか、若者がどういった考えでこの新城を良くしていきたいのか分からないため、誰かにパイプ役で若者議会を通して話ができるような場を作ってもらい、この地域協議会の中で若者を含めて、新城をより良くするために話し合う必要があると思う。地域協議会が高齢の方ばかりで、若い人の意見がなかなか反映されなく、寂れるばかりではないのかという思いがある。

(委員) 地域協議会は予算を持って実務をやる組織であるが、一方で市民自治会議は理念先行であり、ちょっと現実離れしたところがある。そこをうまく結合していくのは1つのやり方である。委員会を作ったり、色んなものを作ったりする中で、どういう組み合わせにするのかを考えるにあた

り、市民自治会議の知恵を借りながら、うまく実務と理念を組み立てるような議論も必要と思う。

4 その他

今後の日程について事務局から連絡した。

(1) 第3回地域活動交付金分科会

令和4年9月1日(木) 午後7時から 新城市役所4階 会議室

(2) 第3回地域計画分科会

令和4年9月8日(木) 午後7時から 新城市役所4階 会議室